

佐鳴湖だよりでは、近年佐鳴湖で課題となっている湖面・湖岸のゴミ問題について、ゴミ拾いやゴミを捨てさせない活動に精力的に取り組む「佐鳴湖・段子川ゴミバスターズ」の福島正義さんからの報告をもとに、佐鳴湖のゴミの現状・活動の内容についてご紹介します。

佐鳴湖・段子川ゴミバスターズは、ゴミ拾いの他にも5月30日に富塚協働センターで開催されたごみゼロフェスタや、8月の第1週に北岸管理棟で開催したゴミ事情展でも啓発活動を行っています。

## 佐鳴湖ゴミ事情 報告

### ●佐鳴湖・段子川ゴミバスターズは、佐鳴湖ゴミ”0”を目標に活動しています。

最近の佐鳴湖は水もきれいになり、樹木も育ち、緑陰が散歩する人たちを楽しませてくれます。駐車場・トイレ・休憩所なども完備され、市民の憩いの場所になっています。しかし、残念ながら湖岸のヨシの影におびただしいゴミが漂着し、佐鳴湖のイメージと逆の様子を呈しています。今回は、佐鳴湖のゴミの状態を皆さんに知っていただき、都市部にこんな素敵な湖があることを感謝し、この湖をゴミのない、市民の誇り佐鳴湖を実現するためにどうしたらいいか皆さんと考えてみたいと思います。

### ●これは、佐鳴湖のゴミの多さに驚き、ゴミの収集を始めたボランティアの記録です。

- ・活動期間：2020年2月～2021年8月（1年半）
- ・活動しているボランティア：主として2名で活動 Aさん(80歳)、Bさん(65歳)  
これまでに、延べ200回ほど活動
- ・収集されたゴミの種類：蓄積ゴミ ・ 流入ゴミ

#### ① 蓄積ゴミ（約210袋※）：2020年2月時点。収集に入る前にすでにあったゴミ（特に北岸）

※以下の文章中に出てくるゴミ袋は70Lのゴミ袋です。



ペットボトル等(1㎡30本以上)



ベビーバス



北岸の漂着ゴミ

② 流入ゴミ（毎月15袋、これまでに約270袋）：佐鳴湖へ流れてくるゴミ



富塚協働センター付近



缶やプラスチック製品



段子川へ  
袋ごとポイ捨て



使い捨てライターが  
非常に多い  
(使い捨てダメ!)

③ これまで（2020年2月～2021年7月）に収集したゴミ



1年間で北岸から210袋の  
ゴミを収集

城北工業高校環境部の皆さん

蓄積ゴミ	210袋
流入ゴミ	270袋
合計	480袋

軽トラック60台分のゴミを拾った  
それだけゴミがあった

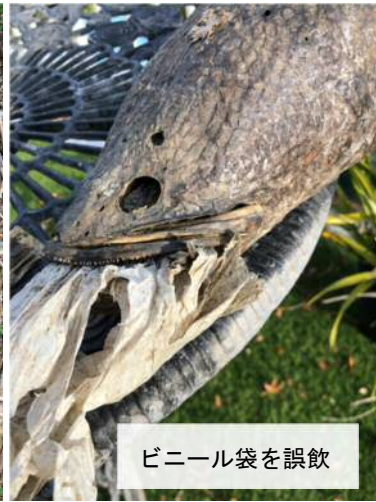


ボランティア（Aさん、Bさん）



●佐鳴湖の課題

- ・マイクロプラスチックが湖岸に蔓延し、動植物の生育に悪影響を及ぼしている。
- ・家庭からごみが段子川等の河川経由で大量に流れてきており、汚染の源泉となっている。



発泡スチロールが細かく砕け、湖岸にびっしり  
これを魚やカメが誤食して死んでいる。



毎月15袋分のゴミが捨てられています。

(1) ゴミはどこから来るのか

- ・家庭で使われたものが河川に捨てられ流れてくる。
- ・段子川からのゴミが流入ゴミの80%を占める。

(2) ゴミはどんなものか

プラスチック製品が100%である。

- ・ペットボトル類：容積の60%
  - ・ビニール袋：全重量の60%
- 家庭にあるものなら  
なんでも

※新品なら雑貨屋が営める種類の多さ

段子川ゴミを2時間収集



(3) 佐鳴湖は海と直結している

湖の1日の干満の差は40cm。1日2回繰り返す潮の干満は佐鳴湖が海と直結している証拠です。そのため、湖に塩水が入り、海の魚イワシも来ている。逆に、裏を返せば佐鳴湖のゴミは今切口を通り太平洋の黒潮に乗り遙かかなたのアメリカにも漂着しているかもしれない。佐鳴湖のゴミ問題は国際問題でもある。

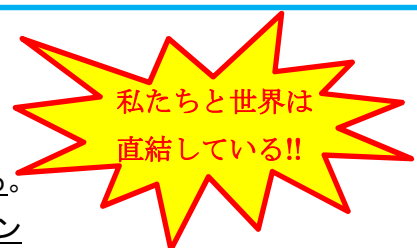
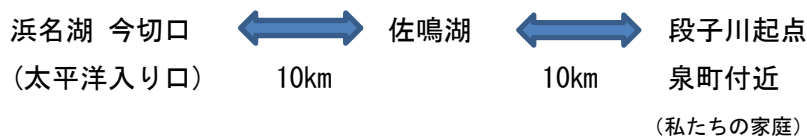
佐鳴湖の面積：120万㎡、干満の差：40cm

⇒1回の潮の干満で  $120 \text{万} \text{㎡} \times 0.4 \text{m} = 48 \text{万} \text{㎡}$

=48万トンの水が入れ替わる。

⇒潮の干満は1日2回起こるため、1日で入れ替わる水は96万トン

佐鳴湖の深さの平均が2mであることを考えると、1回の干満で佐鳴湖の水の20%が動いている。



●佐鳴湖ゴミ”0”を達成するためにはどうすればいいか？

➡ 住民のゴミ”0”運動が必要!!

- ①ゴミを拾う：過去の清算 ←➡ ゴミを捨てない：未来の清算  
ゴミを拾うのは現状維持、捨てる人をなくすことは未来の先取り
- ②ゴミを捨てない運動（ゴミをしっかり管理する）を推進する。

●浜松市は SDGs 未来都市を表明している

佐鳴湖を浜松市の SDGs 運動のシンボルにしよう

SDGs 運動を推進している浜松の代表的公園の湖水がゴミだらけなのは恥ずかしい。ゴミのない佐鳴湖は美しい。だが、すぐにゴミが漂着する。



「子どもらが美しい川と湖のあるふるさとを愛おしい人に自慢できるようにしてあげたい」

富塚町在住 福島 正義

(参考) 浜松市 SDGs 未来都市計画について



浜松市の取組が SDGs 推進に係る優れた取組として評価され、2018 年 6 月に「SDGs 未来都市」に選定されました。

これを受け、「浜松市 SDGs 未来都市計画」を策定し、浜松市 SDGs 推進プラットフォームの設置など、2030 年のあるべき姿を達成するための取組を進めています。

